

ムダにムダを重ねる徳山ダム「導水路」はいらない！

導水路はいらない！愛知の会

会報 5号

2010年7月7日

名古屋市瑞穂区内町1-15加藤牧方

TEL/FAX 052 811 8069

URL : <http://www.dousuiro-aichi.org/>

～水需要予測は過大だが、“合理性を欠くとは断ずることはできない”～ 行政追従・不当判決!! 設楽ダム・公金支出差止「訴訟」

国が愛知県の設楽町内の豊川上流部に、2070億円もの巨費を投じて建設する国土交通省直轄の大型ダム・設楽ダムについて、地元住民ら166人が原告となって、神田愛知県知事を被告に、公金支出の差し止めを求めた「住民訴訟」で、名古屋地裁は6月30日、住民敗訴の不当判決（判決全文は<http://no-dam.net/index.html>にアップ）を言い渡しました。

判決は、“結論（県の支出適法）ありきで、判決に必要な資料を探した”ものと言っても過言ではなく、被告の県側の主張に沿って「著しく合理性に欠ける点はない」との結論を示しています。



一方で、県の水需要の想定を否定しながら、他方で、計画策定は行政裁量の範囲内としています。

また、裁判の場で原告が明らかにした三河湾や豊川水系全体の自然に悪影響があるとの主張（愛知県にとって不都合な真実）については、徹頭徹尾判断を避けました。



「建設中止を求める会」は、「中止」めざして力強く原告控訴を表明！

判決後、百人近い原告・支援者らは弁護士会館会議室に移動、報告集会を開催。冒頭、原告団・弁護団は、「不当判決」への怒りに満ちた抗議声明文（P2に収録）が読み上げられました。

集会では、原告代表の市野さんは「COP10開催県の地元で、非常識な公共事業に“お墨付き”を与えた驚くべき判決だ。これを許せば日本の将来はどうなるのか」と糾弾。在間弁護団長は「公共事業のムダ遣いをチェックしようとしない誤った判断。司法の役割放棄だ」と厳しく批判。ただちに控訴手続きを行い、建設中止に向けて粘り強くたたかうことを表明しました。

～ 目 次 ～

- P1～5 行政追従・不当判決!! 設楽ダム・公金支出差止「訴訟」
- P6～8 「導水路」事業および河口堰に関する公開アンケートの回答結果
- P9～11 6 / 2（水）住民訴訟・第5回口頭弁論が開かれる
- P 12 6 / 12（土）「住民訴訟」提訴1周年 総会・記念講演会（P10）

設楽ダム公金支出差止請求事件不当判決に関する声明

本日、名古屋地方裁判所民事第9部（増田稔裁判長）は設楽ダムに関する公金支出差止等請求住民訴訟について、原告が本訴訟を通じて明らかにした事実をまったく理解することなく、原告らの主張を退ける、不当判決を下した。

本判決は、原告らが明らかにした以下の点について、

- 1 洪水調節の面で、原告らが明らかにした、設楽ダムによらない部分的な河道改修によって、計画高水位以下に水位を下げる事が出来ること、そのことについて河川整備基本計画策定において検討がなされていないことについて、何らの判断もされなかった。
- 2 流水の正常な機能の維持という点については、原告らが明らかにした寒狭川上流を除いて自然環境が既に破壊されている豊川の現状、ダムが三河湾や河川全体に大きな悪影響を与えることについて、理解をしないまま河川管理者の裁量のみを強調して判断してしまった。また、牟呂松原頭首工の5トンの制限流量の設定の最大の根拠となっている水道用水の取水制限の相関図の理解を誤っている。
- 3 水道用水、工業用水について、平成27年度における愛知県需給想定値に達しない可能性が相当高いと認定しつつ、長期的な見通しにたって水需要の見通しを立てるという政策裁量を強調して、このような想定が著しく合理性を欠くとは断ずることは出来ないとしている。
- 4 農業用水について、供給量を用いなければならないところ、需要量を用いて間違って計算していると、原告が指摘した点については、理解をしないまま、被告の主張をそのまま引用する判断であった。
- 5 環境については、環境影響評価法施行後初めての該当事業であったにもかかわらず、不十分な環境影響評価であったことが明らかになったにもかかわらず、これらは単なる意見に過ぎないなどとし、一顧だにせず排斥した。
- 6 灌漑利用者負担金について、矢作ダムの灌漑利用者負担金が、条例もなく徴収されていないという点については何も触れずに結論を出している。

こうした本判決の判断は、原告らが明らかにした事実をまともに受け止めようとしないもので、行政がすすめる公共事業の無駄遣いを司法の立場でチェックしようとせず、むしろ無駄で環境を悪化させるダム事業を積極的に奨励する誤ったものである。

本判決は司法の役割を放棄した不当な内容であるから、原告らは名古屋高等裁判所へ控訴手続を行うとともに、引き続き設楽ダムの建設中止に向けてたたかい続けることを表明する。今後とも、みなさまのご支援をお願いしたい。

設楽ダムの建設中止を求める会

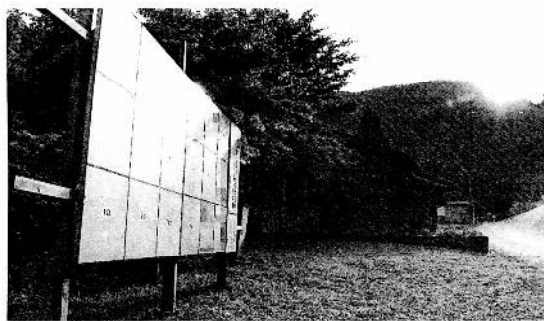
設楽ダム公金支出差止等請求訴訟 原告団・弁護団

民主政権が「再検証」設楽ダム

姿見せぬ候補者

事業の今後「考え聞きたいのに」

民主党政権のダム事業見直しで、再検証の対象になった設楽ダム（愛知県設楽町）。ダム事業が今後どうなるかは、地元で最も関心の高いテーマだが、公示後、町内を訪れた愛知選挙区（改選数3）の候補者は一人だけ。陣営の宣伝カーの姿もほとんど見かけず、住民からは「政党や候補の考えを詳しく聞きたいのに……」との声が上がっている。



町内を訪れたのは1陣営だけ。掲示板のポスターも全候補そろわず「虫食い」状態（29日、愛知県設楽町の国道沿いで）＝梶田大可撮影

参院選
2010

設楽ダム 治水と利水のための多目的ダム。総貯水量は県内最大の9800万トン、総事業費は約3000億円。1973年、豊川上流の設楽町にダム計画が示されたが、町民が猛反対。36年に及ぶ議論の末、昨年2月、町が建設に同意。同8月から関連工事も始まったが、国土交通省は同12月、同ダムなど32施設の事業を再検証すると発表した。



ただ、昨年度から続く工

祖父の建てた家に家族6人で暮らす伊藤雅樹さん（75）（設楽町大倉）は、ダムの付け替え道路の予定地に含まれたため、現在、引っ越し先を探している。当初、ダム建設に反対だった伊藤さんは町を二分した長い議論の末、「町の発展のためなら仕方がない」と受け入れた。しかし、ダムが再検証の対象になったことに再び戸惑い、「国の政策に振り回されるのは、もうこれ以上だ」と、与党候補の人にはきちんと説明してほしい」と話す。

設楽ダム事業は、参院選後の8月頃、全国の他の再検証ダムとともに、継続か中止かの判断基準が示される見通し。

設楽ダム事業について、同選挙区の自民党新人・藤川政人候補（49）は「地域の産業発展に必要な施設」として建設推進の立場。共産党新人・本村伸子候補（37）と社民党新人・青山光子候補（62）、みんなの党新人・薬師寺道代候補（46）はいずれも、「税金のムダ遣いや環境破壊につながる」と反対している。

一方、政権与党の民主党新人・斎藤嘉隆候補（47）は「新政権の下で再検証することは必要だ」と話し、同・安井美沙子候補（44）も「今後さらに勉強したい」としているが、2人とも建設への賛否は明確にしていない。

建設反対派の請求棄却

設楽ダム 公金支出「違法といえず」

愛知県設楽町に計画された「違法」といえず、建設に反対している「設楽ダム」の建設に対する住民グループが神田費の一部を県が負担するの「真秋知事」に公金の支出差

名古屋地裁

し止めを求めた住民訴訟の判決が30日、名古屋地裁であった。増田裕裁判長は「支出は違法とはいえない」と述べ、請求を棄却した。原告側は控訴する方針。

判決は、県が策定した2015年度の水道・工業用水の需要予測について「利用実績に照らすと、想定値に達しない可能性が高い」と指摘。しかし、渇水時にも安定的に水を供給できるよう計画されていることなどから、「需要予測に問題があっても、計画全体が合

理性を欠くとは言えない」と結論付けた。建設費は概算で約2070億円、県の負担額は約721億円とされる。

判決後、原告代表の市野和夫さん（64）は「無駄な公共事業であるダム建設を容

認した司法判断に怒りを感じ」と話した。一方、神田知事は「県の主張が認められた。国土交通省による個別ダム事業の検証でもダムの必要性を訴えたい」とコメントした。

2010/07/01 読売新聞・朝刊

「無駄な事業にお墨付き」

憤る原告、県は歓迎

民主党政権が政権を握る愛知県設楽町の設楽ダム建設について、従来計画の妥当性を認めた9日名古屋地裁判決。原告が「無駄な公共事業にお墨付きを与えた」と批判する一方、建設を推進する愛知県は「ダムの必要性が認められた」と歓迎した。ただ最終的に建設の是非を決める国の判断は目に見えてきた。名古屋地裁は原告らダムに振り回されてきた地権者に慰謝料を支払った。

【名古屋 矢野、秋山信一】



計画提示37年「早期決着を」

■閉廷後

「原告の要求をいれずも裁判する」。37年ぶりに裁判で争われる。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。



原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

妥当性 基準示せず

ダム事業への負担金として長年支払われてきた。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

設楽ダム
国が愛知上流の愛知県設楽町清瀬、松戸を建設地として1973年に計画提示した。水通用水や農業用水の新規水質汚濁対策、洪水調節を目的とする特定多目的ダムで、高さ128m、貯水容量98800万トン。建設に伴う移転対象は約120戸。09年5月に町、県、国が建設同意の協定書に調印し、20年度完成予定。総事業費約2070億円。愛知県は09年度までに計4100万円を負担した。

原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。原告は「原告の要求をいれずも裁判する」と批判する。

設楽タム訴訟 住民敗訴

名地裁判決「愛知県の支出適法」

国が強制買収策断に
建設を計画している
一設案タムをめぐ
り、建設費の却り負
が負担するのは違法だ
として、住民百六十
人が知事と県産業長
に公金の支出差し止
めを求めた住民訴訟の判
決で、名古屋地裁（増
田総裁判長）は二十日
タム計画は著しく合
理性を欠くものでは
ない、県が負担差を支出
するのは違法ではな
いとして却り、住民側
の請求を棄却した。住
民側は訴求する方針、
判決は、住民側が
強した水道用水と農
用水の需要予測の不
や治水効果、環境へ
影響などについて
討。タム計画はた
理性を欠く点がない
を理由にいずれも
民側の主張を退けた
一方、県は多
〇五ヶ庄の水害
〇愛媛県道四
は「実際の被害
県の認定値に達し
可能性が相当高
損傷」「被害認定
根拠があったとし

豊川水系水質汚濁対策基本計画(フルール)が著しく合理性を欠くことは言えない」とした。生活圏は「過大な想定に基づき、治水効果も限定的でダムは不要」と主張。予定地に絶滅危惧種のクマタナエダが生息している点も一挙げ、建設費用を負担しないよう求めていた。

[illegible]

「司法が行政追隨」 横山啓

「公共事業の無計画」と和夫原告団長も「これを司法の立場でチェック」しようとせず、むしろ悪徳を露けよけるダン事業を奨励するも金だ！と。建設省公金出資上り等請求訴訟原告団 弁護士は名古屋市中区の愛知弁護士会館で意見し、「不買行為」への怒りをあらわにされた。在留正井藤岡長は「われわれの主張通り、解決は二〇一五年に持ちわる水道用水、工業用水の競用問題総理府に上達しよう」と同僚を鼓舞しながらも、女性客席ながらも「タタが企業家たるがけは恥しい」と批判。野沢

事、西蔵と云ふ(四)に疑
をもち、「タムは、民主黨が
政を材料だつたはずなの
に、今じつ触れられなくな
い話だ(五)」

タムの再検査は、各地域で
国交関係水産農林機構が関係員
治体と協議する者が有力だ
は親交の純潔を確保しづらく
は言ふ、事業を進めようとした
事業者にこの視点をめく。ま
だ、民主黨のうちに一部の
事業参加者が離脱しようとし
たが、農林をどうなにするの
か。タム中止後の生活再建は
どうなるか。一、具体策は
決まらなかつた。

「期待をおつておいて、
何の策もなかつた、米道重
天、財政上の多額問題と何
いふな(六)」。西蔵をどう建
てるか。

(論說委員・伊藤智章)

ダム見直し 揺るぎ不約

2010 醫院參

東海の課題上

の工事は長さ80キロの遠陸拡張
だけ。々々を起爆剤にした町
おしながらつてゐる。

もうひとつ、前原誠吾国交相
は再婚証の発給が出すまでは
各事業の継続を認めている。

敗戦々々でも今年3月までに
水没予定の16戸が荒垣に抵
い、家の取り壊しがあらかじ
で始まつてゐる。

水糸の言葉が通じないから
タムに区役所という面での旧
教員、伊達達と(笑)は、そ
れが嬉しい。「庄屋様で止し
たとしても、悪路がうまくない
」と嘆いた。

昨年1月、伊達さんらも参加
した庄屋世でのタム区代表
会だ。「全国のタム事業確
立」を約束したのは、陸奥市

代の前原氏だった。9層の大
臣就任会見では「群馬県・八
ヶ岳々々の中上」を明言。と
いって地元の区長を褒め、職
位は発言も後援も未だ。

推進派は強気

独立行政法人・水資源機構が計画する岐阜県・木曽川水系連絡導水路も同じだ。昨年



5月、事業費の1割以上を食
垣する名古屋市の河村たかし
市長が撤退を表明。全国に84
ある検証対象のうちで中止の
有力候補と目された。

「無策なら普天間と同じ」



設楽ダム予定地で、住宅が取り壊されて
できた空き地＝愛知県設楽町、伊藤写す

兼壽堂

「自民党と女々の契約をし
たんじもない。国と合意した
んだ」。設楽町の柳山光明町
長は憤る。町は昨年7月、計
画から80年を越えて女々建設に
同意。水浸する1・24戸の用
地交渉が本格化した矢先、
「コンクリートから人へ」を
掲げた民主党政権が誕生し
た。昨正妻、女々増進の実態

だが、予算は昨年度の18億
日からも僅かに減ったものの
確保された。現地建設所の柳
川所長は「水質も魚などを
継続して調べとおく必要があ
る」と建設を見守る。

6月2日には自民党岐阜県
議らが中心になり、約150
人が初の建設推進大会を開い
た。環境調査に100項目以
上の意見を出し、建設に賛成
と書かれていた回廊の古田誠
知事も参加。「賛成放棄のた
め」としては古田市長議員も怒
を言わした。

この事業は89年10月開

[illegible]

木曽川水系連絡導水路事業および長良川河口堰に関する 公開アンケートの

回 答 結 果

* 回答が重なる場合、候補者のお名前は50音順で掲載させていただきました。

* 中根 ひろみさん、藤川 正人さん、安井 みさこさんの3氏事務所へは、再度にわたり要請（電話連絡）のうえ、再FAX送付しましたが「無回答」でありました。

- 1 現在、国は木曽川水系連絡導水路事業について「凍結」としていますが、他方で今年度5億円の予算がついています。このままでは、来年度も同額程度の予算がつくことと想定されます。

本事業の今後について、貴候補はどのようにお考えですか。以下の事項を選択・回答してください。

- （１） 速やかに本工事着工し、事業を推進すべきである。

回答者なし

- （２） 今年度予算の執行を凍結し、地元を中心に計画の見直しを行うべきである。

斉藤 よしたかさん、薬師寺 道代さん

- （３） 事業を中止し、事業計画を白紙に戻すべきである。

青山 光子さん、もとむら 伸子さん

- （４） その他

回答者なし

このことに関し、お考えがあれば意見を述べてください。

- （もとむら 伸子さん）

愛知県や名古屋市への上水、工水の供給も、水余り状況にあることから、徳山ダム本体に続く二重のムダ使いと言わなければなりません。ムダな大型公共事業であり、ただちに事業を中止すべきだと考えます。

- （薬師寺 道代さん）

凍結中の負担金の支払いはおかしいと思います。

2 長良川河口堰の水質悪化に関連し、知多半島へ給水の県営水道の水源について、以下の事項を選択・回答してください。

(1) 現状のまま、長良川河口堰の貯留水でよい。

回答者なし

(2) 元の木曽川(愛知用水)に戻すべきである。

青山 光子さん、もとむら 伸子さん

(3) その他

斉藤 よしたかさん、薬師寺 道代さん

このことに関し、お考えがあれば意見を述べてください。

(斉藤 よしたかさん)

河口堰の長期にわたる試験開放で 調査・見直しをすべきである。

(もとむら 伸子さん)

04年7月。岐阜県西濃地方の大雨で河口堰のゲートは全開、海水がせき上流まで遡上。愛知県企業庁は元の木曽川からの水に一時切り替えましたが、水道利用者の立場にたち、水源を元にもどして水質の良い原水を使うべきです。

(薬師寺 道代さん)

この件につきましては、もう少し時間をいただき、現地調査をして判断をしたいと思います。

3 木曽川水系三川の環境・水利用などに関する政策提案・マニフェスト・お考えなどがあれば、述べてください。

(斉藤 よしたかさん)

「ダム等に頼らない治水」をめざして、環境への影響を含め、再検討する前原国交相の方針に沿って、県内の個別事業について見直しを行うべき。地域振興はダムと切り離す方針で立案が必要である。

(もとむら 伸子さん)

尾張地域の水需要は、水道用水が横ばいであり、工業用水は減少です。ことさら河口ぜきの水を利用する必要もなく、サツキマスやシジミなど生物への影響もしんぱいされることから、せき運用の見直しが必要だと考えます。

(薬師寺 道代さん)

水余りの現状や、節水技術の向上をふまえ、全ての計画を再考する時期だと考えています。

2010年 6月21日

参議院議員選挙愛知選挙区予定立候補者
様

木曽川水系連絡導水路事業および長良川河口堰に関する 公開アンケートについて（お願い）

導水路はいらない！愛知の会
共同代表 小林 収 ・ 加藤 伸久

国民生活向上と国政発展をめざし、参議院議員選挙に立候補されたことに敬意を表します。私たち「導水路はいらない！愛知の会」は昨年6月、揖斐川上流の徳山ダムの水について一部は長良川経由で木曽川に導水する、木曽川水系連絡導水路事業（以下、「導水路」事業という）に公金（愛知県税）を支出することは、税金の無駄遣いであるとの観点から、愛知県知事らを被告に、名古屋地裁へ公金支出の差止「住民訴訟」を提訴しています。

提訴に先だって、私たちが愛知県の資料を基に検討したところ、近年の水需要の実績の数値は、長良川河口堰の水・徳山ダムがともになくても、愛知県民の生活（経済活動を含めて）には、何ら支障がない（現在、河口堰を水源に知多半島へ県水が給水されています。これは犬山頭首工の暫定水利権を放棄して、河口堰にアリバイづくりをしたもので、知多半島住民からはまずい、臭いと苦情が絶えません。）ことが明らかとなりました。

昨年5月の河村名古屋市長「撤退」表明など、「ダム」事業に対する国民の疑問の声の広がりや政権交代のもとで、導水路事業は現在「凍結」となっていますが、本年度の国予算では、「環境調査」として5億円の事業費が計上されたように、事業は実質進行しています。

私たちは、こんなやり方でムダな公共事業に890億円もの公金が使われることを看過できません。福祉・医療など、国民生活の安定のためにこそ廻されるべきと考えます。

また、今年の秋には、生物の多様性を議論するCOP10（生物多様性条約締結国会議）が、名古屋市で開催されます。生態も流域文化も異なる揖斐川・長良川・木曽川を連結する導水路や、川と海を断絶する「河口堰」が生物の多様性に逆らうことは明白なことです。

私たちは、導水路事業や河口堰の水質問題が地域問題にとどまらず、国政の重要課題であり、次世代につながる重要な課題と考える立場から、貴候補にご質問致します。

ご回答をいただき、県民に投票行動の判断材料として広く情報提供したいと考えております。趣旨を理解していただき、ご協力をお願いいたします。

なお、勝手ではありますが選挙日程の関係から、ご回答は2010年6月28日（月）までに当会事務局まで確実に届くようFAXまたはメールでお願いいたします。

（「導水路はいらない！愛知の会」事務局：加藤伸久）

Tel & Fax 052-811-8069 shinkyuko@s8.dion.ne.jp

C O P 1 0 開催県の知事らは、環境破壊「導水路」中止を！ 6 / 2 (水) 住民訴訟・第 5 回口頭弁論が開かれる

昨年総選挙で、“コンクリートから人へ”の民主党連立政権が誕生。華々しいスタートを切った閣僚らも現況は目を覆うばかり。なかでも、「ハツ場ダム」で大活躍の前原国交相も今や「有識者会議」で国土交通省に取り込まれ、全国のダム反対運動の手足を縛っています。

その親玉・鳩山首相（当時）と影の総理・小沢幹事長（当時）は、第 5 回口頭弁論の開廷日の本日・6 月 2 日（水）、「抱き合い心中」で連帯辞任。劇的な状況下で裁判を迎えました。

梅雨空を心配しながら、遠く岐阜県下からも駆けつけてくださった 30 人を超える原告・会員・支援者らが午後 2 時 30 分に裁判所前集合。



事前集会では、各団体の現況を交流しました。

大法廷では、足助町出身の河合 道夫氏が自らの原体験にもとづく、人と「川」・「森林」との関わり、県民が血の滲む思いで納めた税金の

使い方について意見陳述を力強く読み上げ、「導水路」事業の中止を要望する県民の声と公正な審理への願いを裁判官へ訴えました。（陳述書は本「会報」P 9 ～ P 10 収録）

弁護士会館での報告集会では、在間弁護士より準備書面のやりとり＜＊原告側は、「伊藤本」「近藤本」、在間弁護士作成「県水需給検討書」（徳山ダム水利権 2.3 m³/s は不要で導水路は不要）。＊被告側は、正常流量資料・同説明資料は、「河川分科会・同検討小委員会の調査審議を経たことにより、「河川整備基本方針」内容の客観性及び公正性が確保。＞が報告・解説されました。

また、原告側は同法廷において、被告側へ「求釈明」（どのように具体的な調査審議がなされたことをもって、内容の客観性及び公正性が確保されていると主張するのか）を行いました。

お忙しい中、傍聴支援に参加の皆さま本当に有り難うございました。

～次回（第 6 回）裁判にも、一人でも多く傍聴支援にご参加下さい～

＊と き 8 月 2 3 日（月）午後 1 時 30 分～（午後 1 時に裁判所前集合）

＊と ころ 名古屋地方裁判所・大法廷

＊内 容 ・裁判所前で事前集会

・第 6 回口頭弁論（原告側意見陳述など）

次回以降の原告陳述者を急募しています。是非ともご協力下さい。

平成 21 年（行ウ）第 49 号公金支出差止請求事件

原告 小林収外 91 名

被告 愛知県知事外 1 名

意見陳述書

名古屋地方裁判所民事第 9 部 御中

平成 22 年 6 月 2 日

原告 河合 道夫

私は原告団の一人、愛知県名古屋市名東区梅森坂に住む河合道夫です。職業は昨年 3 月に水に関わる職場を退職、現在は無職の年金生活者です。

現在使われていなくても、何ら不都合が生じていない徳山ダムの水を無理矢理使用させたく、890 億円もの巨額を投入して建設計画の木曽川水系連絡導水路事業への差止を求めて、庶民の立場から意見陳述します。

私は、塩の道として有名な飯田街道の宿場町・足助町、現在は豊田市足助町の出身です。ふるさとの町並みを縫うように流れる巴川は、愛知県内でも有数のアユ釣りのメッカです。週末には太公望が押しかけて昼間人口を爆発的に増加させています。

私は少年時代、清流巴川の支流・阿摺川で朝から晩まで、文字通り水と戯れ遊び呆けました。小学校唱歌ふるさとを何かの機会に歌うたび、聴くたびに思わず知らず目には涙が滲み、脳裡には思い出が走馬燈のように浮かびます。

今から私は、自分の身体へ強烈に染みこんだ原体験にもとづき、導水路は不要であることを二つの方向からお話しさせていただきます。

一つ目は、「流水の正常な機能の維持」です。国土交通省によれば、事業の目的は木曽川水系の異常渇水時に、徳山ダムで貯水した水の一部を木曽川と長良川に導水して、渇水時の河川環境の改善をおこなうとのことですが、これは間違いです。

国土交通省は、魚貝類の生息に流量が条件と断定、人工的にコントロールしようとしています。私がふるさとの阿摺川で釣り・たも・四つ手で穫り続けたハエ、アマゴ、ネコギギの仲間イサナジヨは、異常渇水で絶滅するほど軟弱ではありません。

渇水時には生息数こそ減りますが、溜まり水や川底の泥砂に潜み、たくましく生きています。翌年、川の水量が戻れば魚たちもまたその数が戻ってきました。

さらに大きな問題は、生態系の異なる揖斐川水系の水を木曽川、長良川に混入させることです。とりわけ、湯水の長良川をダムの藻類が繁茂した冷貧水が水底を押し流せば、自生のアユは激減し、鵜飼いもアユの友釣りも大打撃となってしまいます。

関係者は、当然のことながら琵琶湖などで育てられた稚アユを放流します。魚類の専門家である大学教授のお話によれば、放流のさいにアユ以外の魚類なども当然紛れ込みます。動物の世界は、かつての自民党小泉前内閣の新自由主義と同様、弱肉強食の世界、生物多様性は破壊されてしまいます。C O P 1 0 を今年 1 0 月に控えて、愛知県が今なすべきことは、導水路事業を即中止することです。

二つ目は、県民が血の滲む思いで納めた税金の使い方の問題です。

ダム建設は、完成まで長い年数を要し、必ず予算規模が大幅に増大するのが常です。予測どおり、巨額を投じた長良川河口堰も徳山ダムも、水の使い道が無く余まっています。使わなくても払い続ける水源費負担金が県財政をズッシリと苦しめます。

警視庁は5月13日、自殺者が12年連続3万人台と発表しました。動機別では、失業や就職失敗、生活苦など経済的要因での自殺率が前年より増加したとのことです。自殺した人の無念と残された家族の悲しみを思うとき胸が締め付けられる思いです。愛知県は、公金をムダな導水路事業に投入せず、福祉・教育予算に使ってください。

国土交通省はまた、徳山ダムが治水上からも重要な役割を担っていると力説していますが、本当にそうでしょうか。私の生家は、山あいの農家ですから、農業の傍ら林業にも精を出していました。森林は緑のダムとも呼ばれ、降った雨を貯留します。そして、森林は国土も保全します。その森林がいま荒廃しています。費用と便益を検証すれば、流域上流や周辺の森林整備などに力を注ぐことの方がはるかに効果的です。

民主党連立政権の内部でも、大型の土木公共事業を極力見直して、C O 2 の削減にも結びつき、延べ数百万とも試算される雇用の大幅拡大につながる森林整備などの事業に切り替えるべきだと言う考えが論議されていますが、私も大賛成です。

現在、導水路事業は凍結扱いとされ、昨年度に引き続き今年度も本体工事に入れないことになっていますが、環境調査工事を名目に今年度も5億円の予算が執行されています。事業が正式に中止となれば、これまで投入した工事費はまったくのムダ遣いとなってしまいます。公金のムダ遣いはゴメンです。

裁判所におかれましては、公正で賢明な判断を下してくださるよう要望いたします。

～ムダにムダを重ねる徳山ダム「導水路」はいらない！～

6/12(土)「住民訴訟」提訴1周年 総会・記念講演会

昨年6月11日、私たちは愛知県知事らを相手取り、公金の支出差止を求める住民訴訟を提訴しました。この一年、河村名古屋市長の「撤退表明」や新政権による導水路事業の「凍結」など、情勢は大きく展開しました。しかし、事業推進派の大きな巻き返しで凍結とは名のみ、今年度も事業費5億円が支出されています。情勢が激動する今、私たちの裁判のたたかひの重要性はますます高まっています。

「提訴1周年 総会・記念講演会」(資料は同封別冊)は、6月12日(土)午後、住民訴訟スタート集会と同一の桜華会館で開催、約70人の原告・会員・支援者らが参加しました。

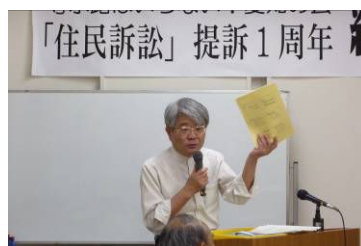


第一部・総会の活動報告では、初めに在間弁護士団長より、“裁判所が、事業の必要性を述べない被告・県知事らに、原告と同じ内容の求釈明をしたことで論争のルールと枠組みが出来上がりつつある”が話されました。

次いで、近藤ゆり子運営委員からは、“事業を止めるためには、さまざまな分野・地域の人たちとの連携が必要”と強調。まとめの言葉として、政治・行政への働きかけ、運動強化の呼びかけがありました。

今年は、生物多様性が議論されるCOP10が開催されます。ダム・導水路事業が生態系に及ぼす影響について問題提起する絶好の機会です。また、未曾有の不況下、「公共事業」問題を学習することは必須の課題。第二部は、情勢に相応しい記念講演・学習会です。

山田明・名古屋市立大学教授は、「愛知県財政と公共事業」をテーマに“一昨年の世界同時不況以降、きびしさを増す県財政に、導水路建設の余裕はなく、強行すれば、福祉・教育予算などの大幅削減やで生活破壊だ。まさに税金の使い方が問われている”ことを強く指摘しました。



国村恵子・名古屋市水辺研究会代表は、「河川・水辺の生態系と生物多様性」をテーマに、具体的な事例を示し、“地域固有の生物多様性を維持している「土砂、栄養塩、底生生物、珪藻類、水性昆虫、甲殻類、淡水魚、野鳥・陸上ほ乳類など」は、横断構造物「導水路」が各務原アルプスを貫通すれば、影響を受けた湧水や地下水が長良川・木曽川へ流入し、絶滅危惧種が生息する河川生態系を決定的に破壊”と、警鐘乱打しました。